



2023年3月期  
第3四半期決算説明資料  
2023年2月13日

社会を変革する **I T イ ノ ベ ー タ**

**会社概要 事業内容**

**業績概要**

**SIGグループ成長戦略と長期ビジョン**



## 経営理念

- 1** ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する  
ITは社会をより便利な方向へ、より安全な方向へと変えながら皆さんを幸せにしていきます。SIGグループはそんなITイノベーションの先頭に立ちます。
- 2** 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる  
ITの技術を真に社会に役立つものにするには安全で迅速で確実なシステムを構築する必要がありますし、これら高いレベルの要求を実現するために自己変革と先端技術の研鑽を実施しています。
- 3** 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する  
幅広い人材の育成は企業の使命であり、特に大切とするテーマです。私たちは育成・指導・話し合いを行うことでビジネスを常に前進させています。
- 4** 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す  
会社は社員みんなの夢を実現しつつ、事業を通して社会に貢献することが目標であり、その実現に向けて社員一人一人の力を集結させることが大切です。「Going All Together to SUCCESS」を合言葉に、挑戦していきます。

## 会社名

株式会社SIGグループ

## 代表取締役社長

石川 純生

## 連結従業員数

439名（2022年12月末日時点）

## 設立

1991年12月16日

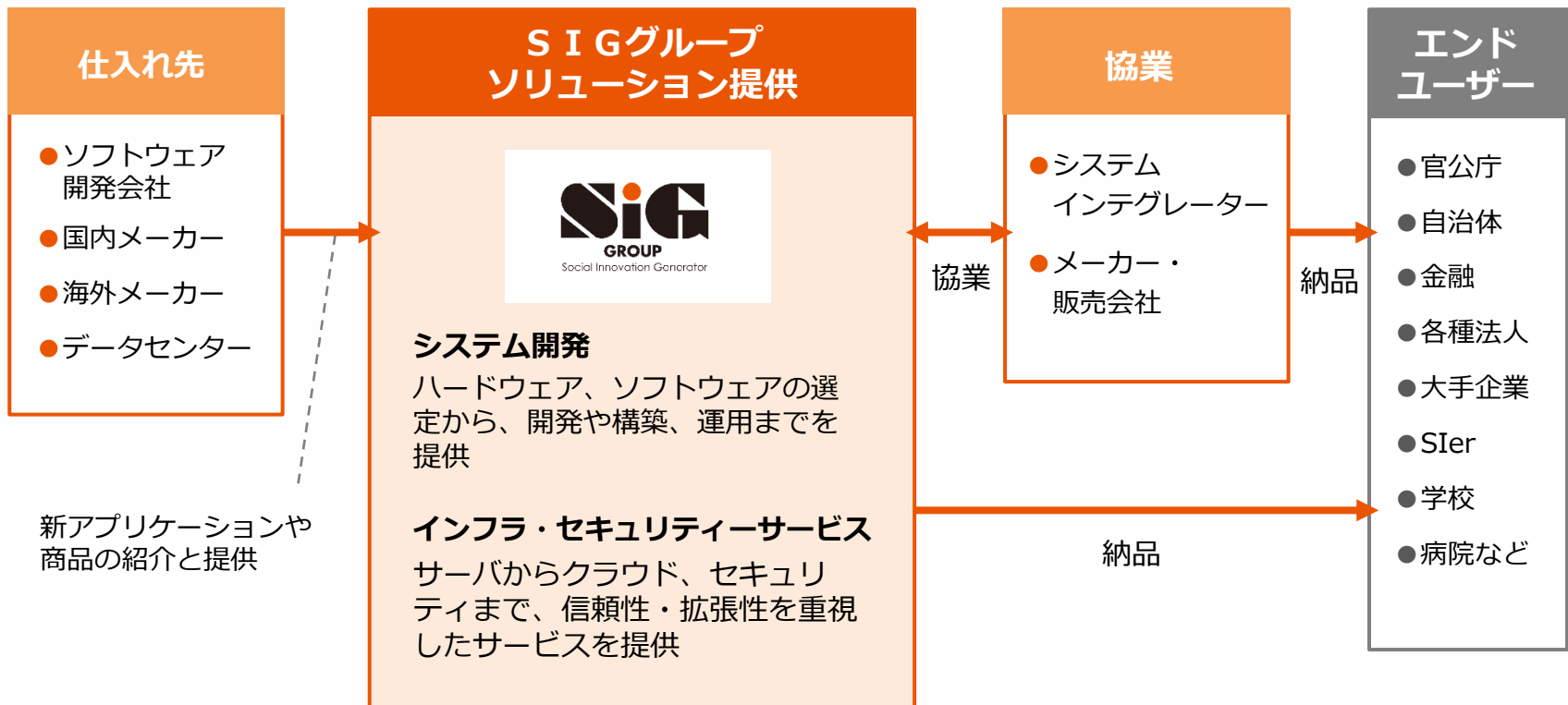
## グループ会社

株式会社SIG

株式会社Y. C. O.

株式会社アクロホールディングス

- 官公庁・上場企業のシステム開発から事業拡大し多数の実績とノウハウを獲得
- ソリューション提供を通して、多種・多様なシステムニーズに対応
- ユニークなシステム開発とクラウド化ソリューション提供のポジションを構築



## システム開発

最適なシステムとなるよう、業務内容や目的に応じた企画の提案、ハードウェア、ソフトウェアの選定、システムの開発や構築、運用までを提供

官公庁



エネルギー



通信



自動車



FA



## インフラ・セキュリティサービス

サーバからクラウド、セキュリティまで設計構築導入支援、運用管理まで信頼性・拡張性を重視したサービスを提供

証券オンライン  
システム構築



防災システム  
構築



クラウド/  
ビッグデータ



クラウド環境  
セキュリティ診断



指紋認証



# 業績概要

# 第3四半期累計業績・通期計画サマリー

7

- 人材の確保が難しい状況の中、単価アップ・高利益率案件等へのシフトに注力した結果、売上は堅調に推移し、前年実績を上回りました。
- 案件の増加に伴う外注費などの原価上昇、コロナ禍における労働環境の改善のためのオフィス増床、レイアウト変更等の一時的費用の計上により営業利益は対前年を下回りました。
- 持分法による投資利益を79百万円計上し、四半期純利益は前年を上回りました。

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期（連結）			
	第3四半期 実績	第3四半期 実績	前年同期比	業績予想 (通期)	進捗率
売上高	3,588	<b>3,893</b>	8.5%	5,544	70.2%
営業利益	247	<b>211</b>	▲14.6%	390	54.1%
営業利益率	6.9%	<b>5.4%</b>	-	7.0%	-
経常利益	275	<b>287</b>	4.2%	420	68.3%
当期純利益	200	<b>205</b>	2.1%	290	70.7%

## システム開発

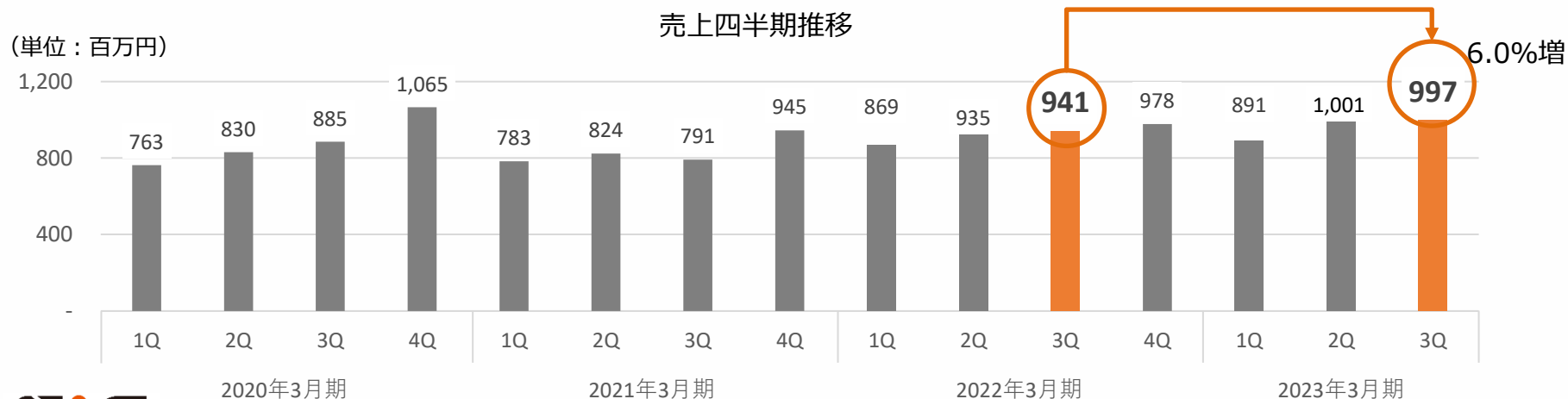
(単位：百万円)

	2022年3月期3Q	2023年3月期3Q	前年同期比
累計売上高	2,746	2,890	+5.3%

### 主要事業領域の各分野での業績は第1・2四半期から継続、概ね計画通りに推移

- 公共系 : 政令都市向け人事給与システムの制度改正対応や自治体向け国保標準システム移行、その他既存案件の安定需要により堅調に推移。
- 製造系 : EV需要の増加など電子部品実装装置の市況の好調を背景に、組込系開発および上位システム開発の受注増加のほか、鉄鋼系プロセスコンピュータ改修および上位の情報管理システム開発・維持保守の新規受注により計画値を上回り着地。
- サービス系 : 第2四半期でのECサイト開発の体制解除による影響を受けるも、仮想移動体通信事業者向けの案件を軸とする安定需要により、対計画値をわずかにショート。

その他、第2四半期からエネルギー系の需要が徐々に増加傾向にもあり、対計画値を上回りました。





## インフラ・セキュリティサービス

(単位：百万円)

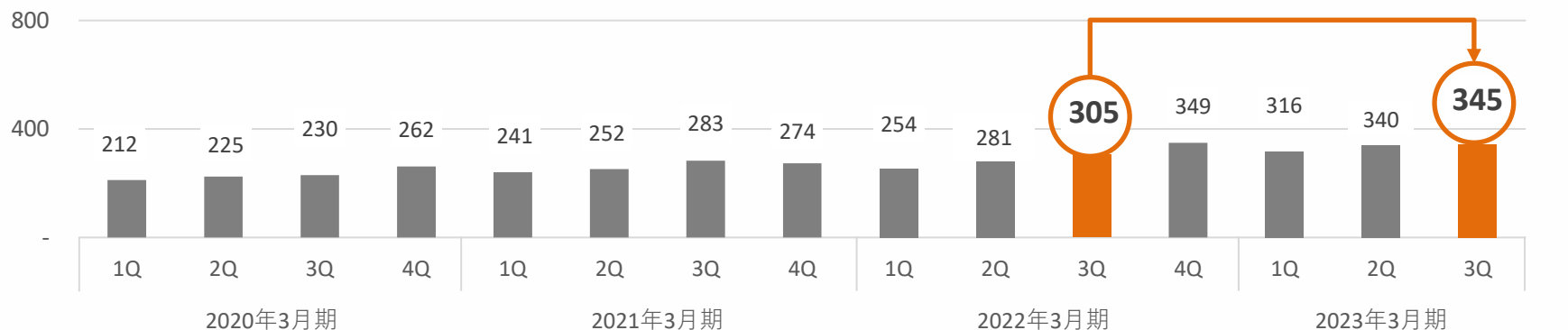
	2022年3月期3Q	2023年3月期3Q	前年同期比
累計売上高	841	1,002	+19.2%

### 前期からの高成長を維持し、例年以上の成長を実現

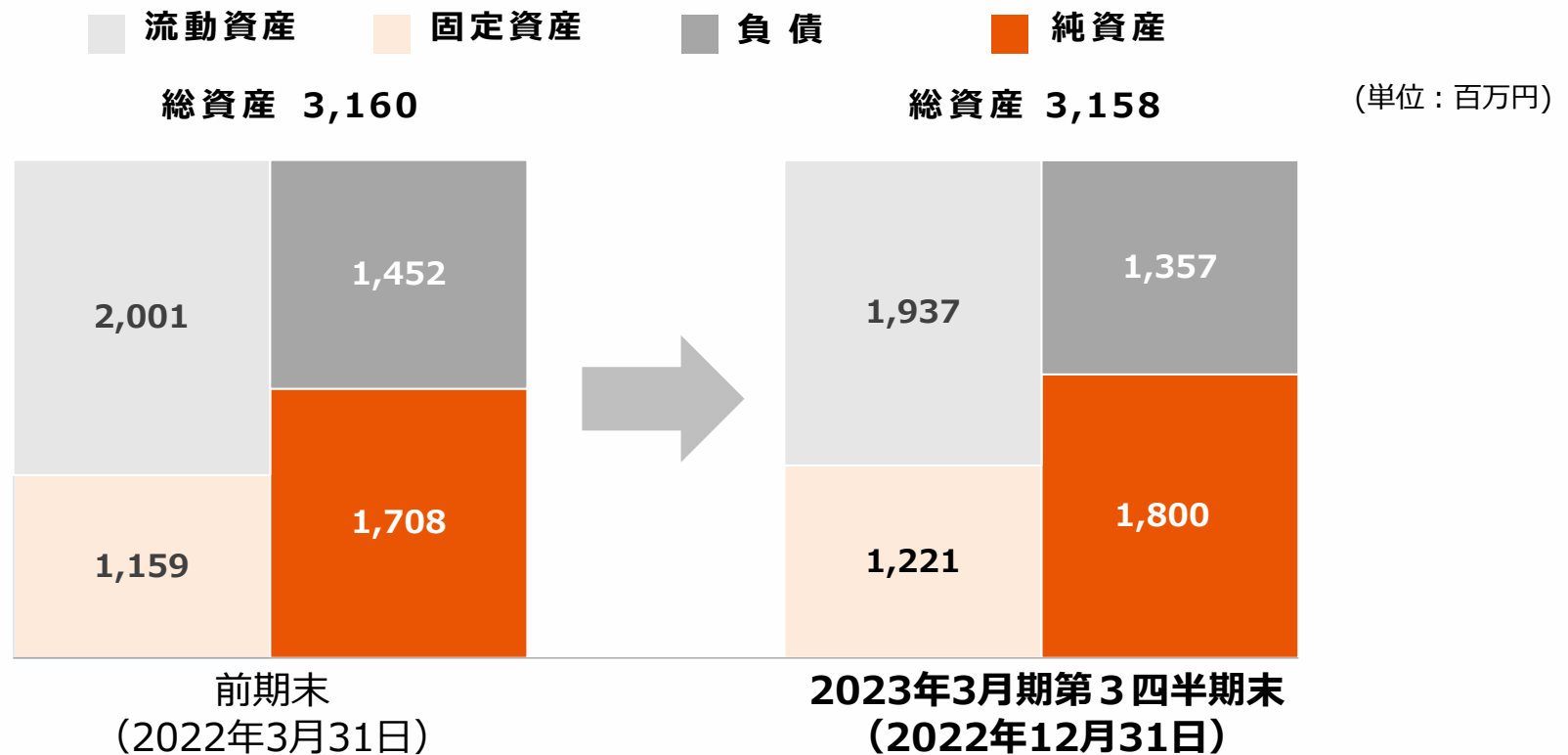
- ・ 社会・公共系 : 受託領域や開発体制が中長期案件受注により安定しており、堅調に推移。
- ・ エネルギー系 : 大型システムリプレイス案件の開始や、新規分野への参入が進み、売上増加。
- ・ 金融系 : 比較的小規模、短期案件でサイクルが短い傾向にあるが、同じ顧客内での要員シフトが順調で安定。
- ・ セキュリティ系 : 上期に続き、単価アップ交渉が実り好調に推移。
- ・ サービス系 : AWSクラウドやシステム構築などの受託（請負）案件が増加し、商品販売含めて高利益率で推移していることもあり、増収増益。

### 売上四半期推移

(単位：百万円)



- 流動資産：3月末終了案件が多く売掛金が減少  
中間配当や法人税等の中間納付による現金および預金の減少
- 固定資産：アクロホールディングス持分法利益の取込による投資・その他の資産増



# S I Gグループ成長戦略と長期ビジョン

- ITイノベーションにより社会の高度化に貢献する
- 自己革新と研鑽により社会のニーズにこたえる
- 幅広く人材を受け入れプロフェッショナルとして育成する
- 会社の発展と業績の拡大によって社員の幸福を目指す

## 経営理念

## ITトータルソリューションカンパニー 「企業の外部CIO\*として成長に貢献」

## 長期ビジョン ありたい姿

### 現状維持へのシステム構築 既存事業

顧客の所属する業界特有のニーズと仕様・用途を熟知するSIGグループができるソリューションを構築

### 事業成長へのシステム投資 新規事業

既存事業の業界知識を事業成長のソリューションへ活かす仕組みを構築

## 中期計画 課題と施策

## 第1フェーズは、SIGグループ文化の再評価から体制構築

第1フェーズ ~2024

第2フェーズ

~2027

第3フェーズ

~2030

文化の融合による  
ビジネスチャンスの拡大

### 「崖越え\*はSIGグループ」

- 大量のDX案件へ対応できる体制を作る
- 顧客に訴求できるソリューションの組成
- 売上：60億円

\*崖越えとは、「2025年の崖」に由来し、IT環境のシステム変換ニーズの高需要とその需要に対応する人材の不足を当社で多くを対応しようという試み

ITトータルソリューションカンパニーへ

- バリューアップソリューションを既存顧客へ
- システム構築支援から事業成長支援企業へ
- 売上：170億円（既存60億、新規110億）

企業の外部CIOとして成長に貢献

- 国内：外部CIOとして企業成長に貢献
- 海外：国内実績を活かした事業支援を展開
- 売上：300億円（従業員2,000人体制）

顧客のビジネス変革（DX）を支援

得意領域の実績と  
新規事業の注力分野  
を融合させ、DX  
ソリューションを  
提案できる体制へ

持株会社として  
機能を活かして  
M&Aで機能強化

お互いの強みを活かす  
パートナー開発

新規事業

注力分野

スマートデバイス

クラウド

セキュリティ

既存事業

得意領域

公共 製造

社会インフラ

金融 拠点

アクロHD との  
協業

グローバル  
人材

## 「崖越えはSIGグループ」の体制を構築し、売上高60億円を達成

### 方針

- 事業体制強化と成長を勘案した数値目標を設定
- 事業執行の確実性とスピード化、ガバナンス強化のための持株会社化
- DX需要を確実に捉える体制を構築する

### 売上目標

(単位：百万円)

	2022年3月期 (実績)	2024年3月期
売上高	4,916	6,000
営業利益 (営業利益率)	378 (7.7%)	600 (10.0%)

### グループ体制 2022年12月31日現在

#### 持株会社

(株) SIGグループ

企業文化の形成

#### 事業会社

(株) SIG

スマートデバイス開発やクラウド、セキュリティ事業を強みに産学官のDX推進を支える

(株) Y. C. O.

独立行政法人の管理業務等に特化した専門的な深い知識とノウハウを所有

(株) アクロホールディングス

個性豊かなIT企業グループの総合力でデジタル分野の全領域をカバー

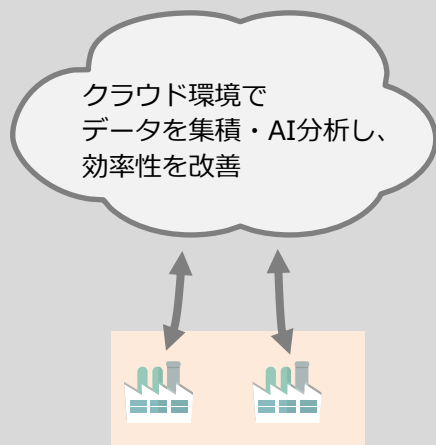
2023年3月 新規グループ加入 (予定)

(株) アクト・インフォメーション・サービス

大手企業案件で培った、多岐にわたるシステム開発・保守の高い技術を所有

## AI・IoT事業

製造現場の人手不足対策としてスマートファクトリー化を加速する企業の支援



### 実績

- IoTを利用した設備  
保安全管理
- AI技術による生産  
性向上システム

## クラウド・セキュリティ事業

旧サーバーからのデータ移管に留まらず、クラウド上のデータ利活用・セキュリティに配慮した提案を実施

### クラウド化支援

- クラウドへのデータ  
移管業務
- データ分析・解析用  
の基板構築支援

### セキュリティサービス

- 脆弱性診断
- アプリケーション  
設定確認

### 保守サービス

- 運用状況確認サービス
- ミドルウェアのバージョンアップ

## ソリューションセンター

次世代の独自ソリューション開発を検討するプロジェクトを立上げ

各事業部から  
次世代事業を  
検討できる  
人材を結集

現状維持へのシステム投資：ラン・ザ・ビジネス

システム  
ソリューション  
事業部

ICT  
事業部

西日本  
事業部

- スマートデバイスソリューションセンター
- CSソリューションセンター

新規事業

事業戦略室

新規事業  
推進部

事業成長へのシステム投資：バリュー・アップ

「スマートデバイスソリューションセンター」では、AI・IoT技術を活かしたソリューションを提供します

「CSソリューションセンター」は、クラウド及びセキュリティ事業に関してソリューションを提供の第一弾として「AWS安全化ソリューション」のセミナーを始動

## アクト社がグループへ加入

### 進捗

- 【実績】 高い技術力で大手システムインテグレータからの開発案件の対応多数
- 【計画】 顧客の多様化、ノウハウ共有

## 酒田事業所の人材強化

### 進捗

- 【実績】 酒田事業所で現地採用が進捗、他拠点案件により経験値獲得
- 【計画】 現地採用メンバーによる自立した拠点経営

### 会社概要

#### 会社名

株式会社アクト・インフォメーション・サービス

代表取締役社長 山崎 弘之

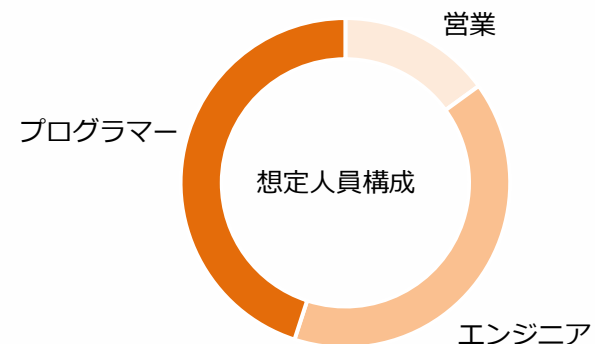
設立 1983年4月22日

事業内容 システムの保守・運用を中心としたソフトウェアの受託開発

従業員 96名（2022年10月31日現在）

### 酒田事業所の進捗と計画

- 経験者を即戦力、中核メンバーとして採用
- 未経験者は拠点間で連携しリモート研修実施
- 地元専門学校への採用活動など、幅広い人材の拡充を目指す





# ディスクレーマー

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

また、当社は2021年3月期については連結財務諸表を作成しておりません。そのため本資料において、過去数値との比較を行っている項目については、特段の記載がない限り単体の過去数値との対比になっておりますのでご了承ください。

- 当資料に関するお問い合わせ

株式会社 S I Gグループ

経営企画室 TEL 03-5213-4580 (代表)